

## 会 議 録

会議録	平成30年度 第2回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバス運行事業者及び運行車両の変更について 稲武・足助線</p> <p>(2) とよたおいでんバスの路線改編について (小原四季桜まつり対応)</p> <p>①小原・豊田線</p> <p>②藤岡・豊田線 (西中山経由)</p> <p>(3) とよたおいでんバス 年末ナイト便の運行について</p> <p>(4) 中学生を対象としたとよたおいでんバス・地域バス無料乗車日の設定について</p> <p>(5) 地域バスの路線改編について 旭地域バス (路線定期運行)</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバス利用促進について</p> <p>(2) 地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰の受賞について</p> <p>(3) 地域バスの路線改編について 下山地域バス (区域運行)</p> <p>4 その他</p> <p>・次回会議の開催予定について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	平成30年8月27日 (月) 午前9時30分～午前10時40分
場 所	豊田市役所 南庁舎7階 南73委員会室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)  野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)  二輪 昭宏 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)  榊原 仁 (愛知県振興部交通対策課) (代理：塚崎)  岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課)  坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課)  志水 昌吾 (愛知県警察豊田警察署) (代理：高橋)  柿本竜一郎 (愛知県警察足助警察署) (代理：寺井)  岩月 正光 (豊田市都市整備部)  三宅 利幸 (豊田市区長会)  酒井 康成 (豊田市高齢者クラブ連合会)  釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会)  三浦 司之 (豊田商工会議所)  加藤 憲治 (愛知県タクシー協会)  小林 裕之 (愛知県バス協会)  深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)  浅野 直宏 (名古屋鉄道株式会社)  吉岡 実 (名鉄バス株式会社) (代理：田村)  境 政義 (豊栄交通株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	1. 次第 2. 平成30年度 第2回 豊田市公共交通会議 会議資料

【協議案件】

(1) とよたおいでんバス運行事業者及び運行車両の変更について

稲武・足助線

- 事務局 【資料1】に基づき説明。
- 委員 稲武・足助線は貨客混載事業を実施しているが、車両変更はそれに影響はないか。
- 事務局 貨客混載事業は中型2台で実施しており、今回の車両変更は該当しないため影響はない。

<協議結果：全員承認>

(2) とよたおいでんバスの路線改編について (小原四季桜まつり対応)

①小原・豊田線

②藤岡・豊田線 (西中山経由)

- 事務局 【資料2①②】に基づき説明。
- 委員 昨年外国人観光客が多かったとのことだが、多言語案内はどうなっているか。また、外国人観光客は市内在住なのか海外から来たのか把握しているか。
- 事務局 多言語案内に関しては、豊田市駅や目的地のバス停に表記することに加え、案内人での対応を考えている。また、外国人観光客について明確には把握できていないが、昨年度は東南アジア、特にベトナムの人が多かった。
- 委員 関係自治区とは調整済みとのことだが、中学校とは調整されているか。
- 事務局 これから早急に調整していく予定。
- 委員 中学生が途中で体調が悪くなった場合等に対応できないが、どのように考えるか。

- 事務局 実態として、中学生の通学はおいでんバス利用より藤岡地域バスの利用が大半であるため、大きな影響はないと考えているが、中学校とは十分調整していきたいと考えている。
  - 委員 豊田市外の桜の名所でも東南アジアの観光客が多かった。外国人研修生はこれからも増えていくと思う。豊田市の印象を良くするためにも、早めの外国人対応をお願いしたい。
  - 事務局 ありがとうございます。昨年は運行事業者にも協力していただいたが、外国人の来訪者が多く混乱もあった。多言語対応、バス停表示については、秋の行楽シーズンに向けてしっかりと実施していきたい。
  - 委員 ラグビーワールドカップに関するボランティア養成などの組織をうまく活用して、年間を通じて対応できるよう工夫していただきたい。
  - 事務局 参考にさせていただく。
- <協議結果：全員承認>

### (3) とよたおいでんバス 年末ナイト便の運行について

- 事務局 【資料3】に基づき説明。
  - 委員 昨年度はおいでんバス10周年記念事業として実施したと思うが、今年も実施するということは、これから継続していく事業なのか。
  - 事務局 継続することで浸透すると考えており、今後も継続していきたい。
- <協議結果：全員承認>

### (4) 中学生を対象としたとよたおいでんバス・地域バス無料乗車日の設定について

- 事務局 【資料4】に基づき説明。
  - 委員 バスの利用促進になり大変いいことだと思う。年度初めに定期券は学校でも販売するのか。定期券をいつどこで売るとかのPRもしてはどうか。
  - 事務局 紙の定期券のときは学校で販売することもあったが、IC定期になってからは対応ができていない。
  - 委員 定期の購入方法についてイベントで説明してほしい。
  - 事務局 了承した。
  - 委員 保護者同伴の条件を付けて、小学生も無料にしてはどうか。また、イベントチラシの配布は学校からだけでなく塾からも配布してPRしたらどうか。
  - 事務局 無料乗車も2年目となるため、これからの展開を考えていきたい。
  - 委員 昨年の利用者数のうち、保護者は何人いたか。
  - 事務局 昨年利用実績の1,160人はすべて中学生の利用。友人同士で来場し、そこに保護者が1名付いていたというイメージだった。
- <協議結果：全員承認>

### (5) 地域バスの路線改編について

#### 旭地域バス（路線定期運行）

- 事務局 【資料5】に基づき説明。
  - 委員 道路管理者の立場から補足すると、復旧見込みが1年以上とあるが、実際には2～3年と見込んでいます。応急措置は対応済みである。
  - 委員 復旧後ルートを元に戻す場合も公共交通会議に諮ることが必要なので、忘れないようにしてください。
- <協議結果：全員承認>

## 【報告案件】

### (1) とよたおいでんバス利用促進について

- 事務局 【報告1】に基づき説明。
- 委員 国土交通省の実施している外国人観光客に対するアンケートで「不便なこと」と聞いたところ、以前は「Wi-Fiが使えない」という回答が1位であったが、29年度「コミュニケーション、表示の見にくさ、多言語表示がないこと」が1位になっている。バス停の表示とあわせてコミュニケーターの養成が重要になってくる。ラグビーワールドカップを契機に今後準備して行ってほしい。
- 委員 21ページ「①健康づくりと連動した利用促進のための施策展開」について、以前は福祉有償運送が実施されていたが、最近苦戦していると聞いている。ここに3つの内容が入っているが、今後は「バリアフリー化に向けたバス利用」ということを入れて、広くバスを利用できる仕組みをPRするとよいと思う。
- 事務局 参考にさせていただく。現在、運行事業者と定期的に「車いすワーキング」を実施しており、障がいのある方にも安心して乗っていただき、運転手も障がいのある方のバス利用対応に慣れておくことを行っている。おいでんバスでのこのような取組を地域バスにも広めていきたい。
- 委員 市内団地の平均年齢が70歳以上という話を聞く。その方々の移動手段と健康をどう保っていくかが重要である。健康を保つために、市内でのちょっとした観光、花や木を散策することはとてもいいと思うのだが、乗継が不便で1日がかかりになってしまう。モデルコースを作って、健康的に楽しく回れる仕掛けを作り発信していただくとよい。

### (2) 地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰の受賞について

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
- 委員 取組内容、功績の中で特に素晴らしいのは、住民参加によって公共交通を構築しているところである。今後も委員の皆さんを始め多くの皆さんの参加のもと、公共交通がより使いやすいものになっていくようご協力いただきたい。

### (3) 地域バスの路線改編について

#### 下山地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告3】に基づき説明。  
意見等なし。

## 4 その他

次回、会議の開催予定について  
平成30年12月開催を予定。

以上